【第 18 回】大型車通行適正化に向けた関東地域連絡協議会　会議概要

1. 会議開催日時・場所

- 日時：令和６年２月１日(木) 14 時 00 分～15 時 20 分
- 場所：Web 会議(Teams)及びさいたま新都心合同庁舎２号館 19 階道路占用調整室

2. 座長（関東地方整備局道路部 道路環境対策技術分析官）挨拶の概要

・令和６年能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げる。一日も早い復興を祈念している。

・現在の最大の課題は 2024 年問題かと思う。第 23 回物流小委員会において、特殊車両通行制度の見直しや利便性向上に向けた通行時間帯の条件の緩和・道路情報の電子化の推進等について議論された。ドライバー不足の解消や働き方改革の実現のため、通行時間帯の条件緩和や手続短縮に向けて道路情報の電子化が進められている。関東地方整備局においても、令和４年度に運用開始した特殊車両通行確認制度の利用促進に向けて協議を重ねており、引き続き道路情報の電子化等を進めていきたい。

・本協議会でも活発な意見交換をよろしくお願いする。

3. 報告

①報告概要

1） 前回の連絡協議会結果等の確認（資料 1）

・前回の連絡協議会議事結果等について報告した。

2） 大型車両を取り巻く課題への取組報告（資料 2）

・今年度の主な活動状況、課題ごとの取組内容・実施状況について報告した。

3） 広報効果の検証（資料 3）

・広報効果の検証として、荷主・クレーンオペレータ・行政書士・広報イベント来場者・ラジオ CM 聴取者へのアンケート、連絡協議会 HP や特車情報 X アクセス数の調査概要と調査結果について報告した。

②主な意見・要望について

・連絡協議会参加のイベントでは多くの来場者を迎え、広い世代に周知、広報できたと感じる。

・SNS での広報において、画像等で目に留まりやすく、文字数制限の範囲で簡潔に伝えるようにしている。

・ラジオ広報は運転者に対して効果的だと考える。会話形式のものが印象に残るのではないかと思う。

・2024 年問題やトラック G メン関連の話題が周知されている中で、「荷主都合の変更指示がある」という回答が増えていることについて、これまで潜在化していたものが表に出しやすくなったのではないかという印象を受けた。

4. 議事内容

①議事概要

1） 令和６年度の連絡協議会について（案）（資料 4）

・令和６年度の連絡協議会について、活動方針を提案し、了承を得た。

②主な意見・要望について

・SNS の運用について、個人情報の取扱い等に注意しながら広報担当部署との連携を行っていく必要がある。

・未収録道路の道路情報便覧掲載などを通じて、行政書士会との連携をさらに進めていきたい。

・広報ポスター・チラシについて、データでの展開によりデジタルサイネージ等広報方法が広がった。今後も続けたい。

・経路違反等を行う運転者と指示する運行管理者に働きかけを行うことで、違反者を減らせるのではないか。

5. 今後の予定

・次回の第 19 回連絡協議会は令和６年７月頃開催予定。